（令和８年８月）

種　　類	市況の概要
（青果部の動向） 青　果　全　般	８月は、前年度同様晴天・高温の日が多かった。干ばつの影響で品質低下となり入荷が伸び悩む品目があったものの、野菜は前年同月並みの入荷量となり、果実はすいかなど生育順調な品目が多かった。総入荷量は前年同月比で３％上回り、総取扱金額は前年同月比で３％下回った。今後は局所的な大雨、高温が続く影響を注視する必要はあるが、平年並みの入荷が見込まれる。 ９月は、野菜では、かんしょや松茸の入荷が増える。果実では、栗や梨、りんご類の入荷が増え、秋の気配が徐々に感じられる。
野　　菜	野菜全般の入荷量は前年同月並みであったが、単価は６％下回った。 根菜類の入荷量、単価はともに前年同月並みであった。 葉菜類の入荷量は前年同月比で４％上回ったが、単価は前年同月並みであった。 果菜類の入荷量、単価はともに前年同月並みであった。 土物類の入荷量は前年同月比で１０％下回ったが、単価は前年同月並みであった。
果　　実	果実全般の入荷量は前年同月比で２１％上回り、単価は１２％下回った。 かんきつ類の入荷量は前年同月比で２７％上回り、単価は２７％下回った。 りんご類の入荷量は前年同月比で２１％上回ったが、単価は前年同月並みであった。 梨類の入荷量は前年同月比で２８％上回り、単価は１２％下回った。 もも類の入荷量は前年同月比で５％上回ったが、単価は前年同月並みであった。 ぶどう類の入荷量は前年同月比で１０％上回ったが、単価は前年同月並みであった。 メロン類の入荷量は前年同月比で２５％下回り、単価は秀品率が高く２４％上回った。 すいか類の入荷量は出荷の遅れていた産地の出荷が回復した影響などにより前年同月比で９９％上回り、単価は６％下回った。

主要品目（野菜）	市況の概況
【根菜類】	
長だいこん	北海道を中心に、兵庫などからも入荷した。入荷量は前年同月比で３％下回り、単価は３４％上回った。
西洋にんじん	北海道を中心に入荷した。入荷量は前年同月並みであったが、単価は需要が低く、３５％下回った。
【葉菜類】	
はくさい	長野から入荷した。入荷量は前年同月並みだったが、単価は加工品の需要が高く、１１％上回った。
キャベツ	群馬を中心に、長野などからも入荷した。入荷量は前年同月比で１５％下回り、単価は４７％上回った。
ほうれんそう	岐阜を中心に入荷した。入荷量は前年同月比で７％上回ったが、単価は前年同月並みであった。
レタス	長野を中心に入荷した。入荷量は高温・干ばつの影響で入荷の少なかった前年を４０％上回り、単価は３２％下回った。
【果菜類】	
きゅうり	京都、福島、愛媛、長野を中心に、佐賀などからも入荷した。入荷量は前年同月比で３％下回り、単価は１０％上回った。
なす	京都を中心に、徳島、群馬などからも入荷した。入荷量は前年同月並みであったが、単価は雨の影響などにより品質が低下し、４％下回った。

とまと	北海道、岐阜を中心に入荷した。入荷量は前年同月比で４％上回り、単価は５％下回った。
ピーマン	大分を中心に、茨城、青森、兵庫、宮崎などからも入荷した。入荷量は高温・干ばつで出荷減となった産地の影響などにより前年同月比で１１％下回ったが、単価は需要が低く、４％下回った。
【土物類】	
ばれいしょ（メークイン含む）	北海道を中心に入荷した。入荷量は前年同月比で６％下回ったが、単価は盆明けに数量が大きく増加した影響で、６％下回った。
たまねぎ	北海道、兵庫を中心に入荷した。入荷量は前年同月比で１７％下回ったが、単価は前年同月並みであった。

主要品目（果実）	市況の概況
ハウスみかん	長崎を中心に、宮崎、佐賀、香川などからも入荷した。入荷量は前年同月比で６％上回り、単価は１７％下回った。
津軽 （サン津軽含む）	長野を中心に入荷した。入荷量は前年同月比で２０％上回り、単価は前年同月並みであった。
幸水なし	富山、徳島を中心に長野などからも入荷した。入荷量は前年同月比で３６％上回り、単価は１９％下回った。
もも	山梨、長野、福島を中心に山形などからも入荷した。入荷量は前年同月比で６％上回り、単価は前年同月並みであった。
巨峰	福岡、山梨を中心に入荷した。入荷量は前年同月比で７％下回り、単価は前年同月並みであった。
シャインマスカット	福岡を中心に山梨などからも入荷した。入荷量は前年同月比で３５％上回り、単価は６％下回った。
アールスメロン	茨城を中心に、静岡、高知、京都などからも入荷した。入荷量は前年同月比で２５％下回り、単価は秀品率が高く、２１％上回った。
大玉すいか	山形、長野を中心に、石川、秋田、滋賀などからも入荷した。入荷量は出荷の遅れていた産地の出荷が回復した影響により前年同月比で１０７％上回り、単価は６％下回った。